

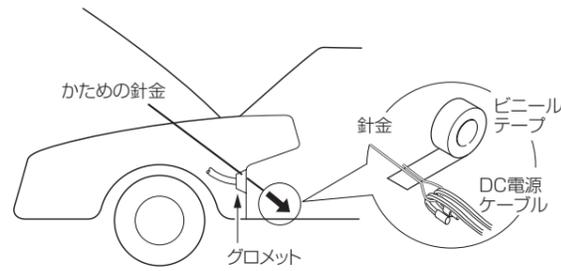
4 DC電源ケーブルを車内に引き込む

かための針金をエンジンルームからグローメットを貫通させて車内に引き込みます。

針金をDC電源ケーブルを絡ませ、針金の先端をペンチなどで曲げ、テープを巻いて車内へ引き込みます。

※DC電源ケーブルを車内へ引き込んだ時点では、DC電源ケーブルをバッテリーに接続しないでください。

※車内にDC電源ケーブルを引き込むときに、グローメット部のほかの配線を傷つけないようにご注意ください。



5 アンテナ基台を取り付け、同軸ケーブルを車内に引き込む

本製品の性能は、使用するアンテナの良否によって大きく左右されます。

目的に合ったアンテナを、正しい状態で使用することがアンテナの効率を上げることになります。

①アンテナ基台にアンテナを取り付け、右図を参考に自動車にアンテナ基台を取り付けます。

②同軸ケーブルは、同乗者が足を引っ掛けないように配線してください。

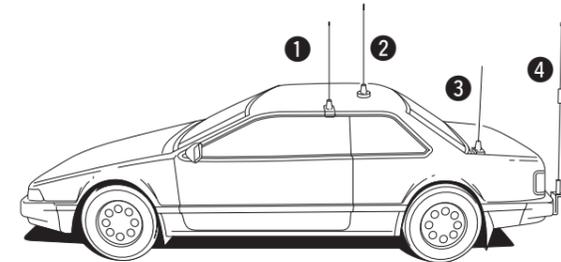
※視界をさえぎるような場所や、運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けしないでください。

※アンテナの取り付けは、道路運送車両の保安基準に基づいて設置してください。

保安基準については、国土交通省または陸運局にお問い合わせください。

※配線したあと、同軸ケーブルの上から、テープなどを貼り付けて固定しておくことをおすすめします。

※同軸ケーブルの引き込み口から、雨水が入らないようにご注意ください。

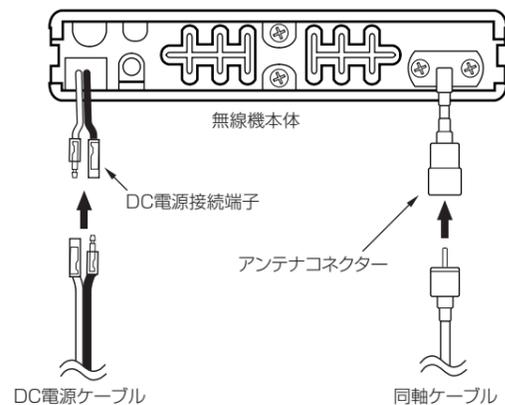


- ① ルーフサイド型
- ② ルーフトップ型
- ③ トランクリッド型
- ④ バンパー型

6 本製品にDC電源ケーブル、同軸ケーブルを接続する

付属の車載ブラケットに無線機本体を取り付ける前に、本製品後面のDC電源接続端子にDC電源ケーブルを、アンテナコネクタに同軸ケーブルを接続します。

※奥までしっかりと差し込んで、ゆるまないように取り付けてください。



7 本製品を設置する

付属のネジ、スプリングワッシャー、平ワッシャー、ナットを使用して、しっかりと固定できる場所に車載ブラケットを取り付けます。

①車載ブラケットの取り付け位置を決めて、3カ所に取り付け穴(直径6mm)をあけます。

※タッピングネジを使用する場合は、必要に応じて適当な下穴をあけてください。

②ネジをスプリングワッシャー、モービルブラケット、取り付け穴の順番に通します。

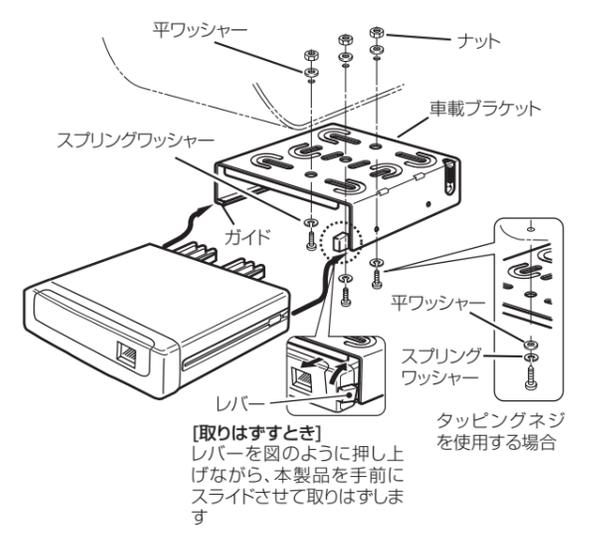
③取り付け穴を挟むようにして、平ワッシャーをネジに通し、その上からナットを取り付けます。

ナットをスパナなどで固定しながら、ネジをプラスドライバーで締めてください。

※タッピングネジを使用する場合は、ナットを使用しません。

④本製品の両側にある溝を車載ブラケットのガイドに合わせ、右図で示す方向に本製品をスライドさせます。

●車載ブラケットの奥に突き当たると、「カチッ」と音が鳴ります。



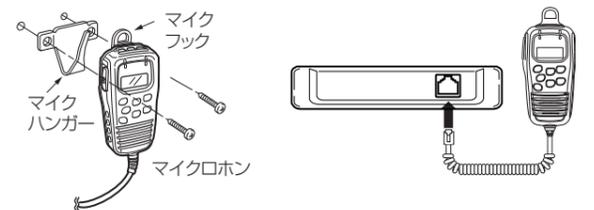
8 マイクハンガーを取り付け、本製品にマイクロホンを接続する

①マイクハンガーの取り付け位置を決めて、2カ所に取り付け穴を開けます。

②付属のネジを使用して、マイクハンガーを取り付けます。

③本製品前面のマイクジャックにマイクロホンを接続します。

※「カチッ」と鳴るまで差し込んでください。



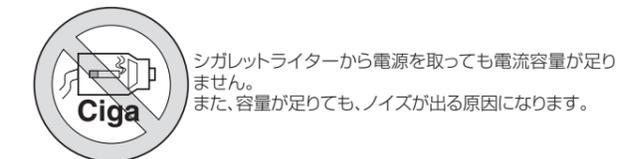
9 バッテリーとDC電源ケーブルを接続する

DC電源ケーブルは赤色が⊕(プラス側)、黒色が⊖(マイナス側)になっていますので、間違えないようにバッテリー端子に取り付けます。

△警告【DC電源ケーブルについて】

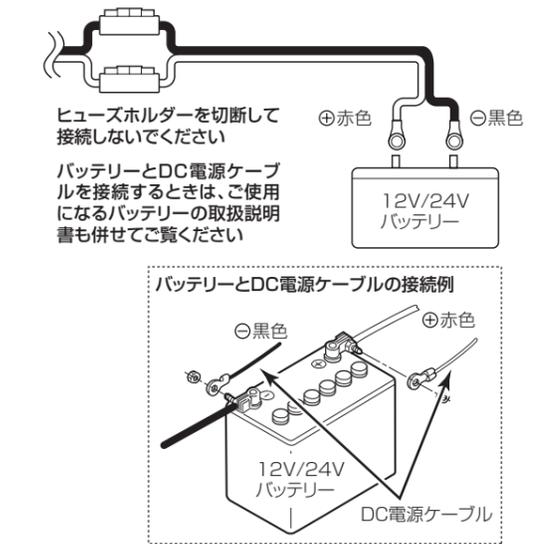
- DC電源ケーブルを接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
- DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
- DC電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱しないでください。
- DC電源ケーブルが傷ついている場合や、接続がゆるい場合は使用しないでください。

【電源接続時のご注意】



登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。



アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-6792H-2J Printed in Japan © 2009 Icom Inc.